

町家改装 交流の場に

企業・学生の社会貢献など支援

カスタネット

オフィス向け文房具販売のカスタネット（京都市、植木力社長）が、昭和初期に建てられた京都市中京区の町家を改装し、外部の人でも会議や講習会などに利用できるフリースペースとして開放する。カンボジアの学校教育支援などを展開する同社の社会貢献室の一部を移して市民に活動をアピールするとともにイベントなども開催。企業関係者や学生、住民らが集う拠点として活用することで「新しいビジネスやアイデアが生まれれば」と期待している。



「カスタ君の町家」でフリースペースの活用法を話す植木力社長（左から2人目）と学生ら＝京都市中京区

この「カスタ君の町家」は、染め工房兼住宅だった町家を同社のスタッフが改装。1階部分の一部を同社が社会貢献室の事務所に使い、坪庭に面した6畳の和室と縁側部分などをフリースペースとして開放する。

フリースペースの利用は無料。また、イベントも企画している。社会貢献を行う企業による交流会兼勉強会「社会企業家町家塾」を来春スタートさせるほか、運営に協力する学生グループ「京都文教大学社会企業家勉強会」（高橋奈菜子代表）が17日に社会人と就職活動中の学生が交流す

る「ワンコイン座談会―就職と働くこと 本音で語る会」を開催する。

植木社長は「畳の上でひざをつき合わせると和やかな雰囲気になり、本音で語り合いやすい。企業関係者や学生、NPO（民間非営利団体）が集い、交流する場にした」と抱負を語る。

同社は、植木社長が大日本スクリーン製造の社内ベンチャー第1号として平成13年に設立した。取引先から回収した使用済みのプリンター用カートリッジをリサイクル用として販売し、その収益でカンボジアに文房具を贈る活動などを続けている。「カスタ君」は同社

の社会貢献活動のイメージキャラクター。町家の利用申し込みは同社社会貢献室（☎075・681・9100）へ。

イベントなどの日程や空き状況はインターネットの専用サイト（<http://www.casta-kun.co>）で紹介する。